

再々評価調書

事業名	二級河川東横尾川 河川改修事業				
担当部署	都市整備部 河川室 河川整備課 改良グループ (連絡先 06 - 6944 - 9297)				
事業箇所	和泉市北田中町外				
再々評価理由	再評価後5年を経過した時点で継続中				
事業概要	目的	東横尾川は、国道170号が並走し、沿川には人家が連担している。本河川においては、大阪府の当面の整備目標水準である時間雨量50mmの大雨が降った場合に発生する洪水を安全に流下させ、安全・安心で豊かな生活環境を築くために河川改修事業を進める。			
	内容	改修延長 L=520m 目標流量：100 m <sup>3</sup> /s (時間雨量50mm) 護岸工 L=520m、道路橋 3橋、落差工 2基			
	事業費	全体事業費：約11.6億円(約11.6億円) うち投資済事業費：約10.9億円(約8.5億円) (内訳)調査費等約0.4億円(約0.4億円) (内訳)調査費等約0.4億円(約0.3億円) 用地費 約3.4億円(約3.4億円) 用地費 約3.3億円(約3.0億円) 工事費 約7.8億円(約7.8億円) 工事費 約7.2億円(約5.2億円)			
	( )内の数値は前回評価時点のもの	【事業費の変更理由】 変更なし	【工事費の内訳】 護岸工 約6.3億円 道路橋 約0.9億円 落差工 約0.6億円		
	事業費の変動要因	【他事業者との協議状況】国道170号改良事業について適宜協議を実施。 【再評価時に予測した事業費変動要因の状況】特になし 【計画変更の予定】特になし			
	維持管理費	約6百万円/年(実績等に基づく算定)			
	上位計画	大津川水系河川整備基本方針[H12.12] 大津川水系河川整備計画[H13.2] 大阪府都市基盤整備中期計画(案)改定版[H17.3]			
	関連事業	-			
事業の進捗状況	経過	事前評価時点 (評価なし)	再評価時点 (H16)	再々評価時点 (H21)	分析
	事業採択年度	H2	H2	H2	用地取得に関する地元調整に当初想定以上の期間を要したため。
	事業着工年度	H2	H2	H2	
	完成予定年度	H17	H20	H22	
進捗状況		用地:91% <0.365ha / 0.4ha> 工事:80%  整備済延長 約0.40km(77%)	用地:98% <0.39ha / 0.4ha> 工事:90%  整備済延長 約0.47km(90%)		
今後の事業進捗の見通し	用地買収、工事とも完了に目処がたったため、確実に事業を推進する。  【新たなコスト縮減や代替案等の可能性】特になし				

事業を巡る社会情勢の変化	事業目的に関する諸状況	事前評価時点	再評価時点	再々評価時点	分析
		氾濫防止面積 6 ha  浸水家屋数 160 戸	氾濫防止面積 6 ha  浸水家屋数 133 戸	氾濫防止面積 6 ha  浸水家屋数 82 戸	過疎化により氾濫区域内の世帯数が減少している。
地元等の協力体制		・団体交渉による用地所得等により、地元協力のもと順調に事業を推進。	・同左	・事業に対する地元自治会等の協力・理解を得ながら順調に事業を推進している。 ・階段護岸が地域協働活動の拠点となり、河川清掃などの積極的な参加が見込まれる。	・概ね順調に事業を実施している。

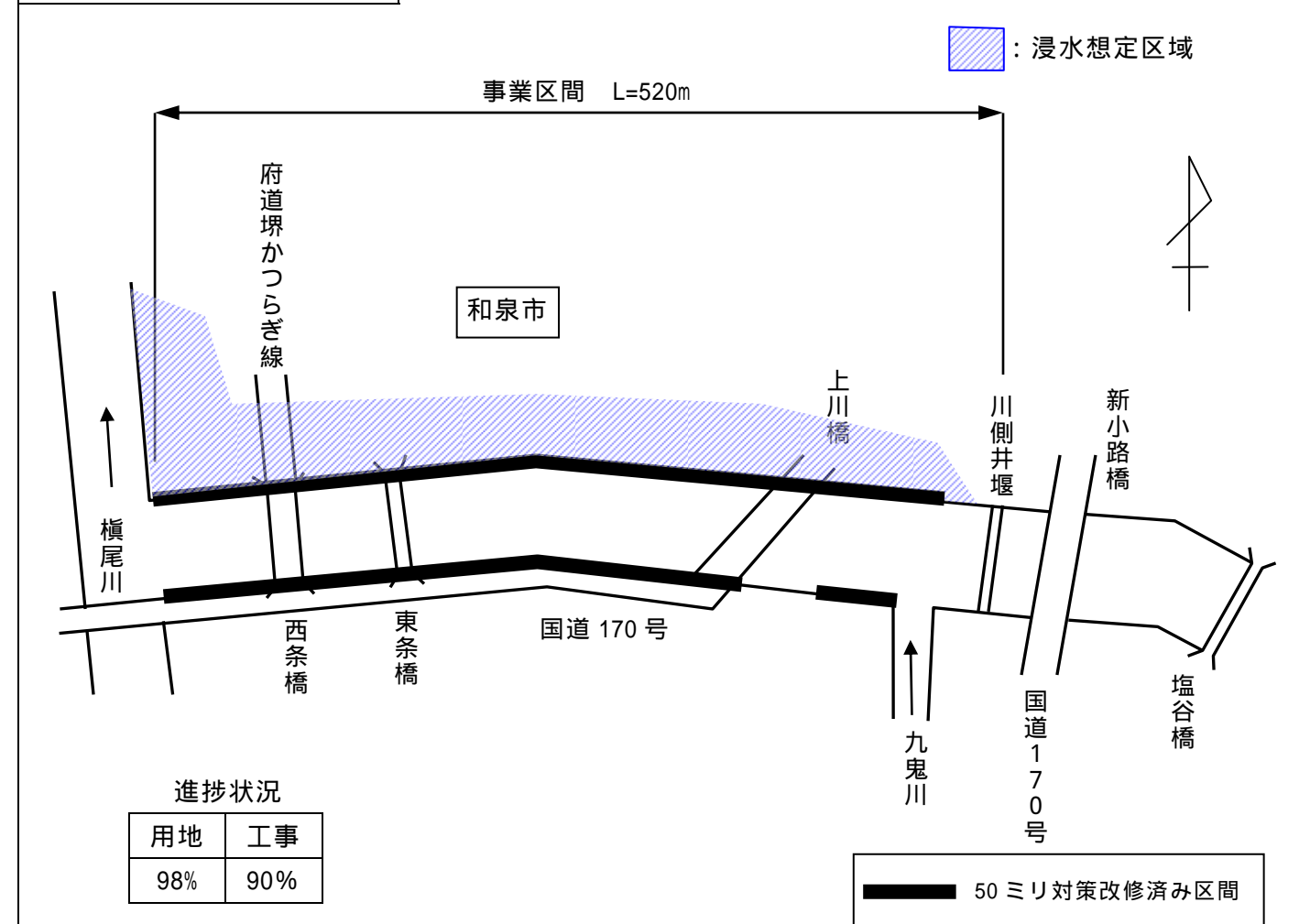
	事前評価時点での状況		再評価時点での状況	再々評価時点での状況（変更点）	分析
		備 考			
事業効果の分析	費用便益分析	・下記代替指標による	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ B / C = 4.32</li> <li>便益総額 B = 46.3 億円</li> <li>総費用 C = 10.7 億円</li> <li>・費用便益算定の根拠： 治水経済調査マニュアル（案）H12.5</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ B / C = 3.21</li> <li>便益総額 B = 39.4 億円</li> <li>浸水被害軽減便益 39.4 億円</li> <li>総費用 C = 12.3 億円</li> <li>建設費 9.8 億円</li> <li>維持管理費 2.5 億円</li> <li>・費用便益算定の根拠： 治水経済調査マニュアル（案）H17.4</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 氾濫区域内の世帯数の減少に伴い、B/C が減少。</li> </ul>
	その他の指標（代替指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ C/B=総事業費/年平均被害軽減額 = 6.7</li> <li>・ 年平均被害軽減額 B=142.9 百万円</li> <li>・ 総事業費 C=964.2 百万円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 便益内容：資産被害抑止効果</li> <li>・ 受益者：周辺住民、農業従事者</li> </ul>		
	定性的分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;安全・安心&gt;：浸水被害の軽減（生命・財産）</li> <li>・ 河川改修により、治水安全度を向上し、府民の生命・財産を守る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;安心・安全&gt;</li> <li>・ 同左</li> <li>&lt;活力&gt;：交流拠点の形成（良好な水辺空間）</li> <li>・ 階段護岸の設置等により親水性の向上を図る。</li> <li>&lt;快適性&gt;：景観（周辺と調和した水辺環境）</li> <li>・ 自然環境に配慮した護岸等の改修を行うことにより、視覚的にやすらぎを与える水辺環境を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;安心・安全&gt;</li> <li>・ 同左</li> <li>&lt;活力&gt;</li> <li>・ 同左</li> <li>&lt;快適性&gt;</li> <li>・ 同左</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;安心・安全&gt;</li> <li>・ 河川改修の実施済区間では、治水安全度が向上。</li> <li>&lt;活力&gt;</li> <li>・ 階段護岸設置箇所において、清掃などの地域協働活動の拠点となっている。</li> <li>&lt;快適性&gt;</li> <li>・ 周辺の景観と調和のとれた整備を実施。</li> </ul>
自然環境等への影響と対策			<ul style="list-style-type: none"> <li>（影響）</li> <li>・ 河川改修は、現況河道の拡幅及び河床掘削を行う。工事に伴い、現況の植生は失われる。また、魚類、底生動物についても瀬及び淵が一時的に失われることとなる。</li> <li>（対策）</li> <li>・ 改修前の環境に近づけるため、自然に配慮した護岸構造とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同左</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 河川整備計画に従い、自然環境の保全と回復に配慮した改修を行っている。</li> </ul>
その他特記すべき事項				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 和泉市のハザードマップは作成済みであり、市役所ホームページで公表されている。</li> </ul>	
前回評価時の意見具申・府の対応方針の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>【意見具申】</li> <li>【府の対応方針】</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>【意見具申】本事業については、「事業継続は妥当」と判断する。</li> <li>【府の対応方針】『事業実施』とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>（前回評価に対する具体的な取り組み）</li> <li>・ 引き続き事業の進捗に努める。</li> </ul>	

# 二級河川東横尾川河川改修事業概要図

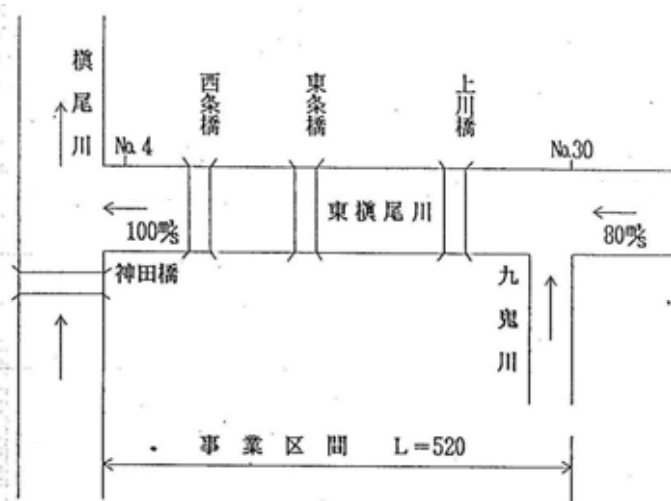
事業箇所図



平面図



流量配分図



標準断面図

